



江戸狂歌のユーモア

【講演概要】

短歌・俳句・川柳が広く親しまれているのに対し、短歌と同じ形の狂歌は、一般にはその存在すら知られていないかのようです。狂歌が全盛だったのは、200年以上も前の田沼時代といわれる20年間ほどだけです。しかし、その『江戸狂歌』の笑いとうもアは、落語などにも受け継がれ、今も広く庶民に親しまれています。江戸狂歌の傑作を中心に紹介しつつ、狂歌に込められた先人達のうもア精神に迫ります。どうぞ狂歌の世界を堪能してください。

【プロフィール】

1955年福島県いわき市生まれ。1995年以来「狂歌作家」を名乗る。狂名は一桂案二（いっけいあんじ）。おそらくは世界唯一の狂歌作家。生活の折々に読んだ歌は六万首に及ぶ。笑い学会では研究発表、講演を多数経験。日本笑い学会関東支部運営委員。笑いの講師団。



講師：野中 由彦氏
(のなか よしひこ)

【狂歌作家：一桂案二】

2022年 1月22日 (土)
講演 14:30~16:30
Zoom入場は 14:15~

※新型コロナ感染拡大に伴い、会場参加は中止とし、Zoomによるオンライン参加のみとなりました。

コロナ対策のため事前申し込み制
会員無料
(非会員は参加費 1,000円)
(ただし非会員の学生は無料)

申し込み方法：お名前・会員番号
(非会員の方は「非会員」、学生の方は学校名)を記載し、メールにて申し込み下さい。